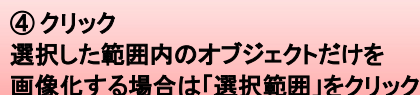


【四法対応】図・表・化学式等を一括画像化 (typeY)

② クリック

③ クリック

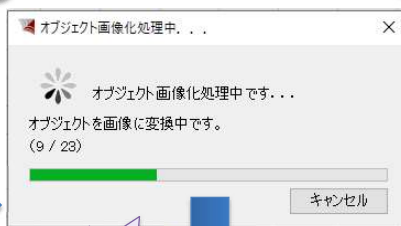


対象書類を選択

※生成画像の解像度、色調

- ☒ 画像横を余白で埋めるか
- ☒ 変換した画像の左上に、【 】で図表番号書式を挿入するか
- ☒ 大きい表など、複数ページにまたがるように画像化するか
- ☒ テキストやオブジェクトを含み、一行全体を画像化するか
- ☒ 複数行全体を一つにまとめて画像化するか

必要項にチェックマークを入れて画像化します。



クリック

画像化

After

Before

【請求項3】 ←
式13化合物と式6化合物又はその塩とを反応させて、式14化合物

【請求項3】
式13化合物と式6化合物又はその塩とを反応させて、式14化合物を得るステップ

オブジェクト形式の式が散在していてもOK！

図表番号のない画像には【 】を挿入し、オブジェクトをまとめて、一括画像化します！

オブジェクト画像化

書類別設定

対象: 商標・イメージ

※生成
 特許・実用新案・全体
 意見図面
 白黒・イメージ
 添付物件(意見・商標・審判)
 その他書類(意見・商標・審判)

色調: ☐ 白黒

変換方法: ☐ 閾値法 ☒ 誤差拡散法

☐ JPEG画像を含む対象はフルカラー化する

☒ フルカラー

白黒 or フルカラーを選択

☐ メタファイル系の網掛(パターン)を表示解像度で画像化する
 ※通常はOFFでお使いください。(画質低下する場合あり)

☒ 複数ページにまたがる表は分割して画像化する

☒ オブジェクトを含む行全体を画像化する
 (文章中の数式等は個々に改行・画像化します。)

☒ オブジェクトを含む行が連続する場合はまとめて画像化する
 (ページサイズを超える場合は画像を分割します。)

☒ 画像化済みのオブジェクトは再画像化しない
 (他のオブジェクト等と合わせて画像化する場合を除きます。)

☒ 文章の途中にあるオブジェクトは改行して画像化する

☐ 画像化処理完了後に書式チェックを行う

実行 キャンセル

<https://www.pcinfo.jpo.go.jp/guide/Content/Rules/ImageRules.htm>

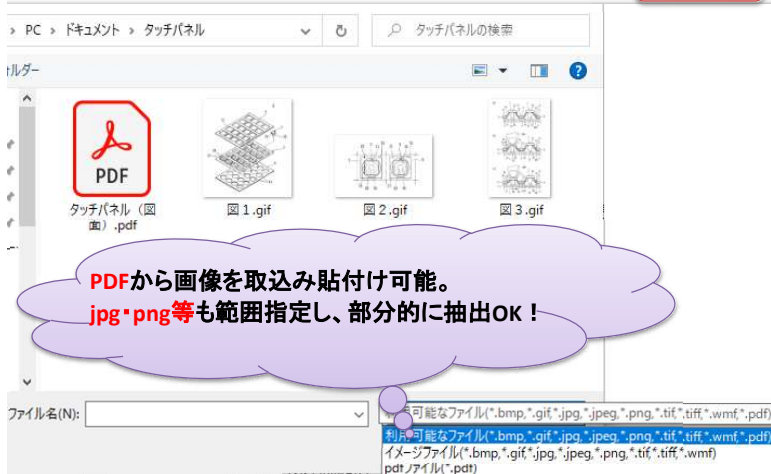
[illegible]

画像挿入 (typeY)

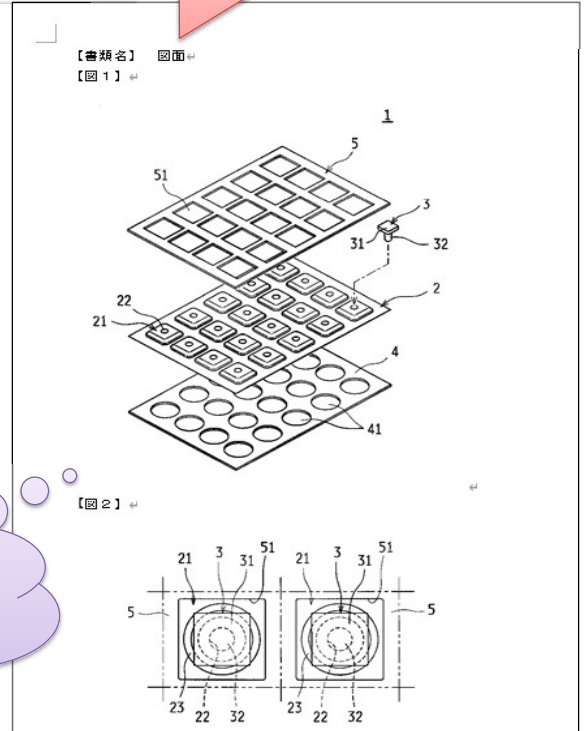
5. PDF等から画像を取込み貼付けることができます。



Word文書内に図面をインポートして
”【書類名】図面”を作成することができます。

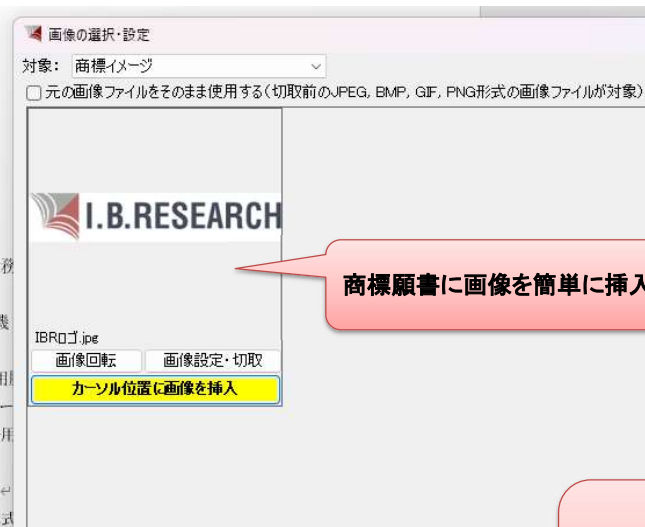


電子出願ソフトによる出願用として、
PIXEL調整および画像劣化防止した
HTMLファイルを、自動作成することができます。



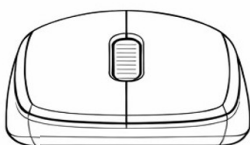
<商標>

【書類名】 商標登録願
【整理番号】 A-123456
【あて先】 特許庁長官 殿
【商標登録を受けようとする商標】
【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務】
【第7類】
【指定商品（指定役務）】 乗物用洗浄機
【第11類】
【指定商品（指定役務）】 水処理装置用
【指定商品（指定役務）】 水処理用の逆浸透膜フィルター
【指定商品（指定役務）】 濾過式浄水器用膜、浄水用機器、空気清浄用
【商標登録出願人】
【識別番号】 399021943
【氏名又は名称】 アイビーリサーチ株式会社

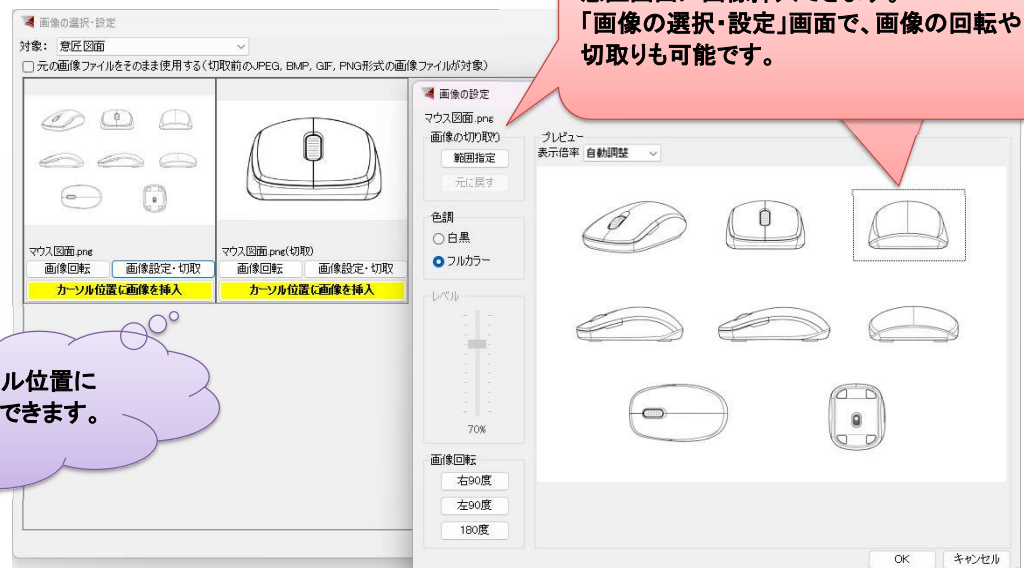


<意匠>

【書類名】 図面
【正面図】

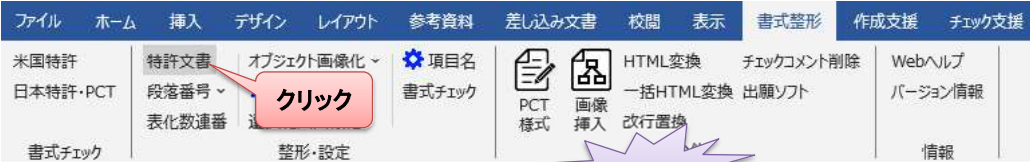


Word上のカーソル位置に
意匠図面を挿入できます。



出願支援整形(typeY)

6. Word内の校閲(変更履歴)を解除した後、日本出願用に文書全体の体裁を整えます。



Before

After

【請求項 1】
式 I 化合物の感光性組成物の製造方法であって、
式 A 化合物と式 B 化合物又はその塩とを反応させて、式 C 化合物又は式 D
eCN^[-1]を製造するステップとを含む式 I 化合物の感光性組成物の製造方法。
化 1

12

(式中、R₁はアミノ基からなる群より選ばれる。)

【請求項 2】
請求項 2 に記載の感光性組成物の製造方法であって、
前記式 D 化合物から式 I 化合物を置換するには、エーテル系化合物との質量比が
式 (1) を満足するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の感光性組成
方法。
化 2

$$O = \begin{cases} 2N+1, & 2D \\ (N+1)^2, & 3D \end{cases} \quad (1)$$

明細書

発明の名称：中空球体を含有する新たな人造粘土組成物及びこの製造方法

技術分野

[1]本発明は、硬化せず、長い時間形態が維持されながら、水なしに繰り返して
な人造粘土組成物に関するもので、特に、水に溶解して洗浄が容易で人体
高く、軽く、必要に応じて再度繰り返して新たな造形をでき、形態維持能が優れ
形態のまま長時間同一の形状を維持でき、投げたりするゲームが可能な新たな人造
物及びこの製造方法に関するものである。

背景技術

図面の簡単な説明

[23]図 1a～図 1f は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
[24]図 2a 及び図 2b は、本発明の実施例で中空球体と液状物質を混合した
察した写真である。
[25]図 3 は、ボロシリケートガラス、スライドガラス、クォーツとグリセリンの撮
定した写真である。
[28]図 4 は、人造粘土組成物の密度測定のための試料の製造過程を示した写真であ

請求の範囲

【請求項 1】
水溶性であり、密度が 0g/cm³ 超 0.6g/cm³ 以下であり、乾燥実験前後の密度変化が 1
である人造粘土組成物。
【請求項 2】
第 1 項において、形態変化実験前後の重量変化が 2% 以下であることを特
組成物。
【請求項 3】
第 1 項において、密度が 0g/cm³ 超 0.4g/cm³ 以下であることを特徴とする人造粘土組

【請求項 1】
式 I 化合物の感光性組成物の製造方法であって、
式 A 化合物と式 B 化合物又はその塩とを反応させて、式 C 化合物又は式 D 化合物の
eCN^[-1]を製造するステップとを含む式 I 化合物の感光性組成物の製造方法。
【化 1】

12

(式中、R₁はアミノ基からなる群より選ばれる。)

【請求項 2】
請求項 2 に記載の感光性組成物の製造方法であって、
前記式 D 化合物から式 I 化合物を置換するには、エーテル系化合物との質量比が下記の数
式 (1) を満足するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の感光性組成物の製造
方法。
【化 2】

$$O = \begin{cases} 2N+1, & 2D \\ (N+1)^2, & 3D \end{cases} \quad (1)$$

【書類名】明細書

【発明の名称】 中空球体を含有する新たな人造粘土組成物及びこの製造方法

【技術分野】

【0001】

本発明は、硬化せず、長い時間形態が維持されながら、水なしに繰り返して造形が可能な
人造粘土組成物に関するもので、特に、水に溶解して洗浄が容易で人体に対する安全性が高
く、軽く、必要に応じて再度繰り返して新たな造形をでき、形態維持能が優れて固まった形
態のまま長時間同一の形状を維持でき、投げたりするゲームが可能な新たな人造粘土組成物
及びこの製造方法に関するものである。

【背景技術】

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図 1 a】 図 1 a は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【図 1 b】 図 1 b は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【図 1 c】 図 1 c は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【図 1 d】 図 1 d は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【図 1 e】 図 1 e は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【図 1 f】 図 1 f は、実施例による本発明の人造粘土組成物の多様な写真である。
【0024】

【図 2 a】 図 2 a は、本発明の実施例で中空球体と液状物質を混合した後、光学顕微鏡で

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】
水溶性であり、密度が 0g/cm³ 超 0.6g/cm³ 以下であり、乾燥実験前後の密度変化が 10% 以下
である人造粘土組成物。
【請求項 2】
第 1 項において、形態変化実験前後の重量変化が 2% 以下であることを特徴とする人造粘土
組成物。
【請求項 3】

7. 日本出願用に、フォームや項目名を整形する際、カスタマイズできます。

「置換前の項目名」とは、整形前の文書内項目名を認識するところであり、「置換後の項目名」に置き換える機能です。文書によっては、多種多様の項目名が、付されている場合がありますので、カスタマイズ「置換項目名の追加」を用いてお使い下さい。

書式チェック (typeY)

8. 書式チェック後、Wordから直接インターネット出願ソフトへファイルコンバート

アナリスターから出願ソフトの起動も可能！

アナリスターと同一PCにインターネット出願ソフトがインストールされている場合、インターネット出願ソフトによる書式チェックを利用することが可能です。「出願ソフトの本人認証を行う」に☑を入れますと、出願ソフト用の送信ファイルを指定の利用者フォルダ配下に生成することができます。

アナリスターからインターネット出願ソフトへ出願ファイルを送信し、そのまま出願手続可能！

書式チェックでエラーがなければ、インターネット出願ソフトのビューアを起動することができます。

書式チェック時に上記のオプションに☑を入れて、書類を整えることも可能です。

HTML変換 (typeY)

9. WordからHTML変換が可能

**Wordからの明細書等を電子出願用のHTMLに変換できる機能です。メニューの「HTML変換」ボタンを押すだけ！
(画像の劣化や縮小の問題は、発生しないよう工夫されています。)**

**※ご注意！※
Wordの「名前を付けて保存」は使用せず、アナリスターの「HTML変換」機能をご使用ください。
オブジェクト画像化で加工した画像が勝手に縮小され、多色フォーマットの画像になってしまいます。**